

「アイアールmagazine オンライン」を活用した 個人投資家向けIRのご提案



NOMURA 野村インベスター・リレーションズ

STRICTLY PRIVATE AND CONFIDENTIAL

© Nomura Investor Relations

会員制Webマガジン 「アイアールmagazine オンライン」が ご提供できるソリューション

- ◆ 投資家とのリレーションシップ(相互信頼に基づく、長期にわたる良好な関係)の構築においては、投資家の心理・行動プロセスである①認知、②理解・共感、③比較検討、④購入・継続保有・買い増しの4つの段階にあわせたコミュニケーション施策が重要となります。
- ◆ 「アイアールmagazineオンライン」は、MIR@I会員(個人投資家)約3万3,000人へのリーチ^{*}が可能であり、貴社に対する個人投資家の「①認知」の拡大と「②理解・共感」の深化機会に加え、「③比較検討」時の材料としての情報提供を実施いたします。
- ◆ また、閲覧者であるMIR@I会員へ掲載記事に対するアンケート調査を実施いたします。2,000~3,000件の回答結果から、閲覧者の「認知」「理解・共感」度合の可視化と効果検証のための情報をご提供いたします。
- ◆ 企業と個人投資家との“インタラクティブ(双方向型)メディア”という他に類のないWebマガジン「アイアールmagazine オンライン」を、貴社の個人投資家向けIRにご活用ください。

MIR@I会員への配信人数
約3.3万人



アンケート回収数(最大)

約3,000件

機関投資家への配信

約1,000人

直接的な反響が期待できる
MIR@I会員 約3.3万人にリーチ
(約3,000件*のフィードバック)

会員の約8割が1,000万円以上の金融資産を保有し、約6割が株式投資歴10年以上、約6割が10銘柄以上保有。企業研究に高い関心を持ち、積極的に投資をしているベテラン投資家が多く登録しています。

アナリスト・機関投資家

個人投資家のみならず、約1,000名のアナリスト・機関投資家にも配信しています。



*フィードバック数は目安であり、 確約するものではありません。

「アイアールmagazine オンライン」とは？

- **1992年の創刊**以来、多くの個人投資家に**銘柄発掘・選定のための情報源**として活用されてきた弊誌は、2022年に個人投資家向け情報サービス「**MIR@I会員**」(約33,000人)向けの**Webマガジン**としてリニューアルしました。
- 最大の長は、**有力な株主候補となりえる個人投資家群**へのリーチ力。さらに、掲載タイプによっては、**MIR@I会員アンケート**を介した掲載企業と個人投資家との**双方向コミュニケーション**も可能となっています。
- また、Webマガジンの特性を活かし**関連情報へのリンクを設置**。個人投資家の「**もっと知りたい**」**欲求に応える**ことで、貴社への理解深化を促します。



《投資家への情報発信力》

- ◆ MIR@I会員(個人投資家約33,000人)への掲載企業の任意のタイミングでの直接メール配信
- ◆ MIR@I会員からのフィードバック(アンケート回答数)が2,000~3,000件
- ◆ アナリスト、機関投資家(約1,000人)へ年4回、直接メール配信

会員制Webマガジンだからできる深いコミュニケーション

「アイアールmagazine オンライン」が情報の“ハブ”となって、さまざまなリンク先に遷移。個人投資家の「この企業のことをもっと知りたい」(企業側＝当社のことをもっと知ってほしい)に応えます。
「アイアールmagazine オンライン」が、貴社をより深く知ってもらうための「玄関」の役割を果たします。

【ユーザー行動】

MIR@会員用「マイページ」



閲覧した会員にはポイントを付与



この企業のことをもっと知りたい



遷移先

貴社サイト
 貴社のIRサイトや財務情報ページに誘導することで、「IRレポート」で伝えきれない詳細な情報にリーチさせることが可能です。

「net-IR」動画サイト
 NIRの動画配信サービスをご利用の場合は、貴社の動画との相互リンクを設置します。

各種SNS
 掲載コンテンツには各種SNSのシェアボタンが設置されています。SNSを通じた口コミ拡散も期待できます。

MIR@I会員の特徴

MIR@I会員の特徵

- 多くの読者(MIR@I会員)が「銘柄発掘のきっかけ」「投資情報の入手先」として活用。
- 企業研究に熱心かつ、株式投資に積極的な「情報読み込み型」の会員が中心です。アンケートへの回答も意欲的に取り組まれます。
- 保有金融資産や投資スタンスなどの属性を把握しており、アンケート回答者の投資関連の属性情報が把握できます

MIR@I会員 概要

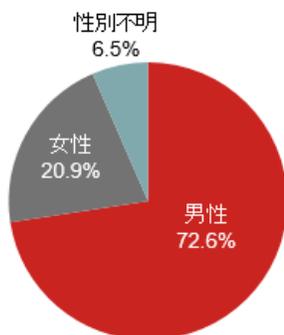
- ◆ 登録者数……………約3.3万人
- ◆ 年齢層……………約6割は、60歳以上
- ◆ 職業……………無職が多いが、会社員も約3割
- ◆ 保有株式資産……………約5割が、1,000万円以上
- ◆ 株式投資歴……………約5割は、10年以上
- ◆ 保有銘柄数……………約6割が、10銘柄以上保有
- ◆ 約3割が「銘柄発掘のきっかけ」「投資情報の入手先」として活用
- ◆ 3,000名前後がアンケートへ回答



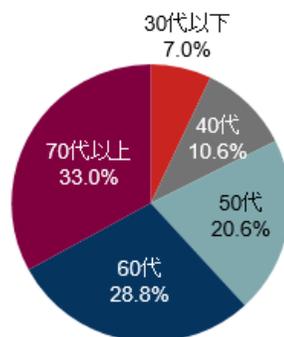
MIR@I会員の属性

対象者数: 33,580名 (2023年8月現在)

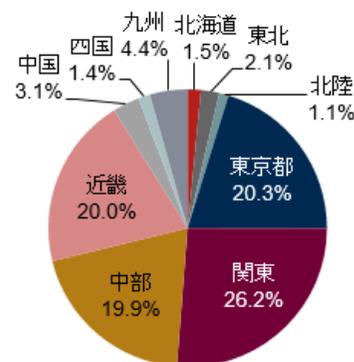
性別



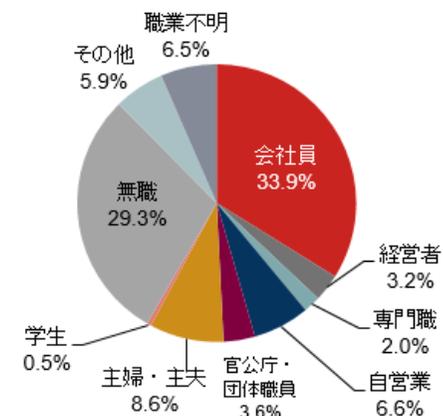
年代



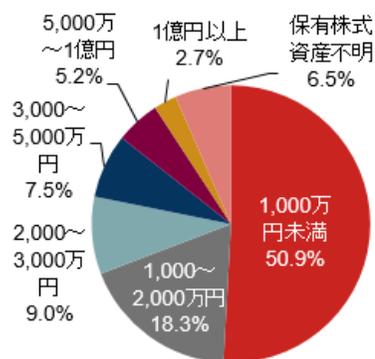
地域



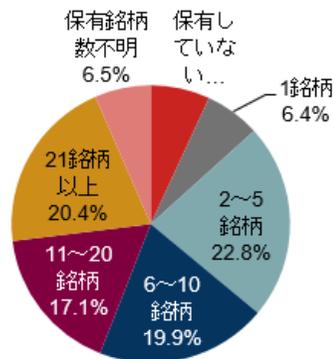
職業



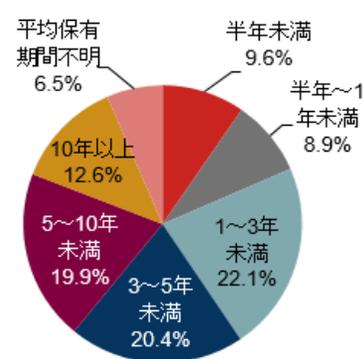
保有株式資産



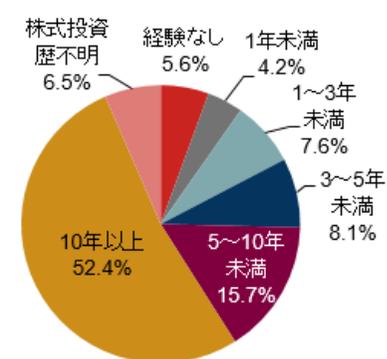
保有銘柄数



1銘柄当たりの平均保有期間

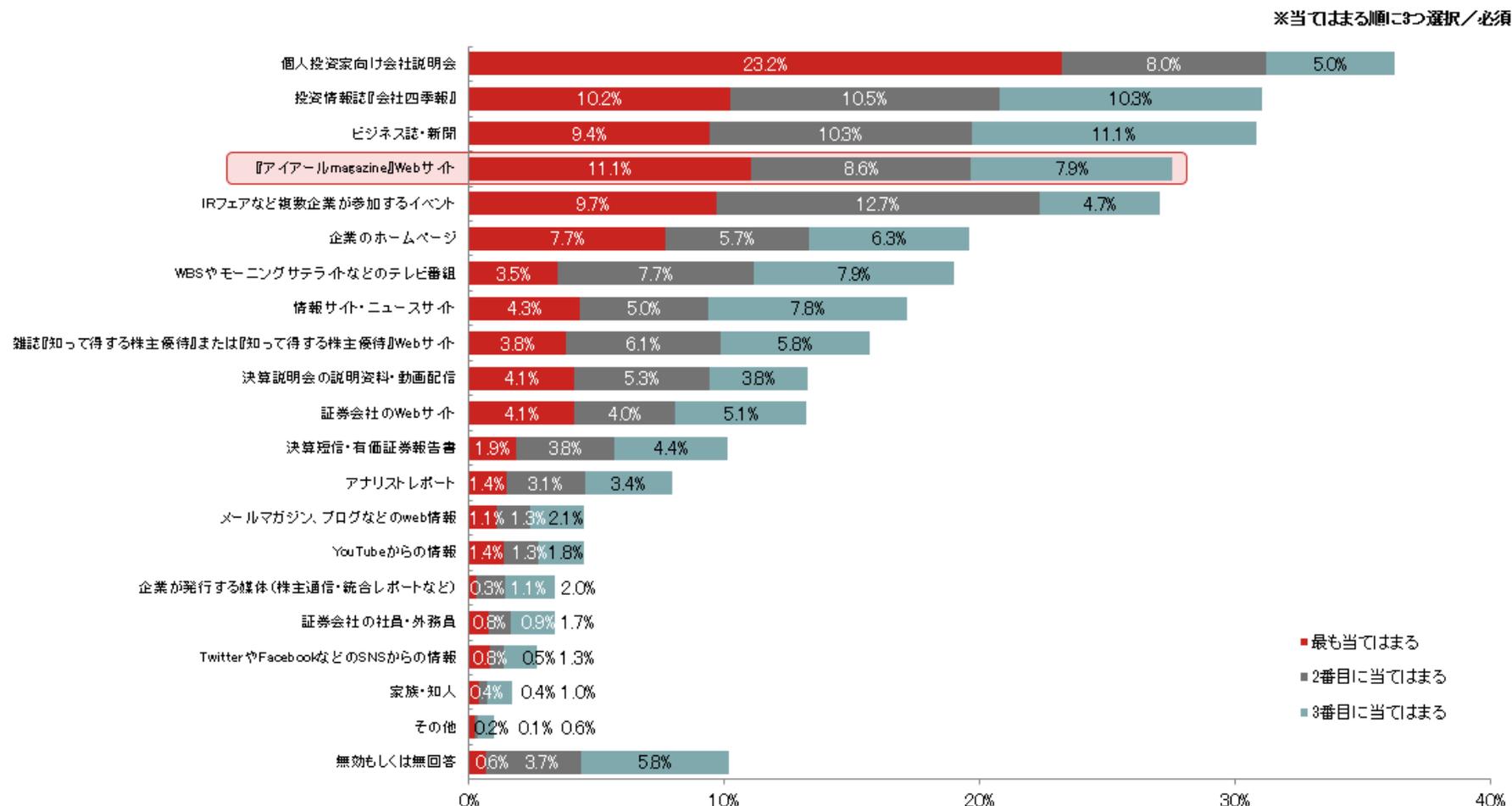


株式投資歴



【アンケート】 株式投資に関する情報収集について

【新しい投資銘柄を探す時、よく活用する情報源】



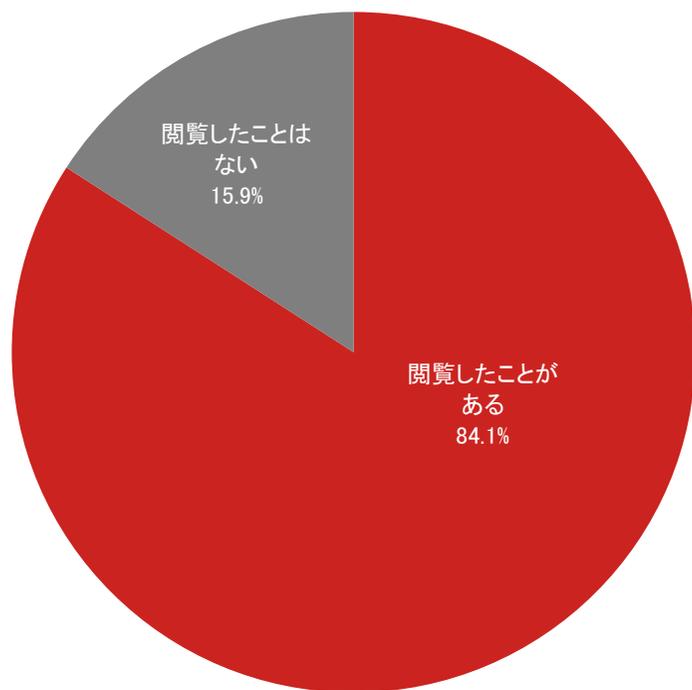
※アンケートシステムの仕様上、同一選択肢の複数選択が可能のため、同一選択肢が複数選択された場合には順位が高いものを優先し、順位の高いものは無効と判定している。

※2023年2月に実施した「個人投資家意識調査」より一部抜粋

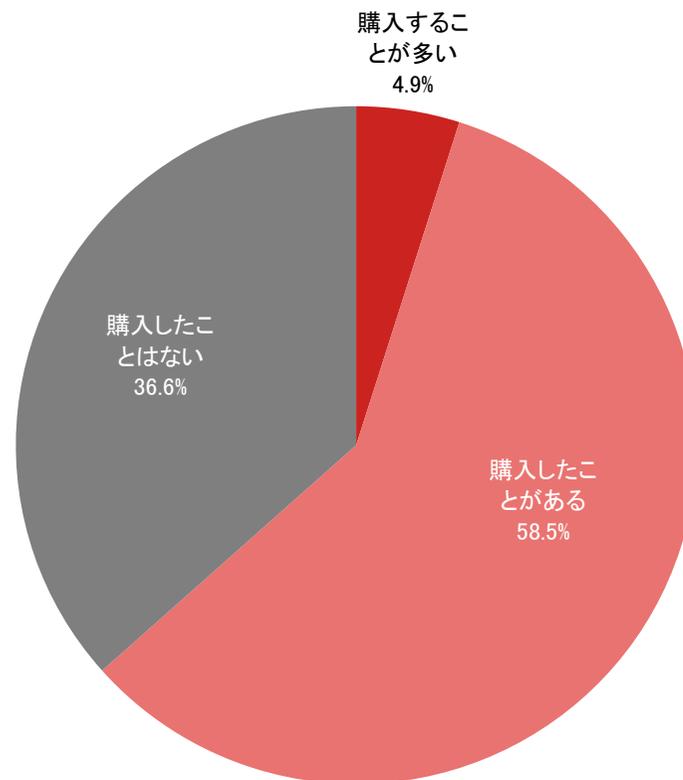
『アイアールmagazine』閲覧後の株式購入について

※単一選択/必須

■ 閲覧経験



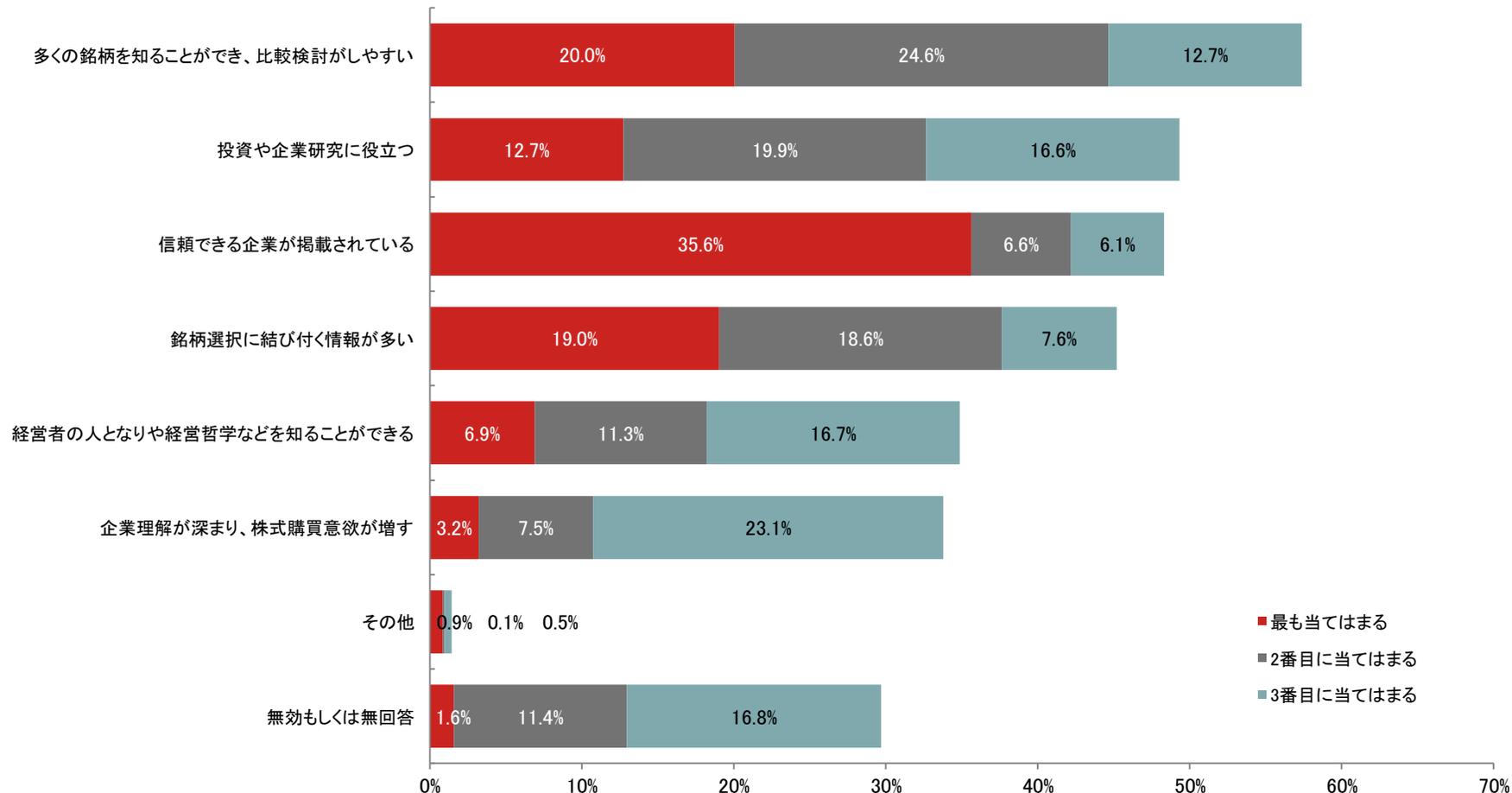
■ 閲覧後の株式購入



※2023年2月に実施した「個人投資家意識調査」より一部抜粋

『アイアールmagazine』の優れている点について

※当てはまる順に3つ選択／必須



※アンケートシステムの仕様上、同一選択肢の複数選択が可能のため、同一選択肢が複数選択された場合には順位が高いものを優先し、順位の低いものは無効と判定している。

※2023年2月に実施した「個人投資家意識調査」より一部抜粋

サービス内容:ベーシックプラン(IRレポート)

- 定型タイプ / カスタムタイプ / 対談企画タイプ

「IRレポート」概要

「IRレポート」とは

「IRレポート」とは、発行体企業と投資家とのコミュニケーションを円滑にし、投資家に発行体企業に対する理解を深めてもらうことを目的にしたネット・レポートです。

野村IRでは、あらかじめ設定された所定項目に沿った内容を発信する「定型タイプ」と、テーマ等が自由に設定できる「カスタムタイプ」、さらに著名人との対談形式の「対談企画タイプ」の3タイプをご用意しています



【掲載事例】

■ 定型タイプ



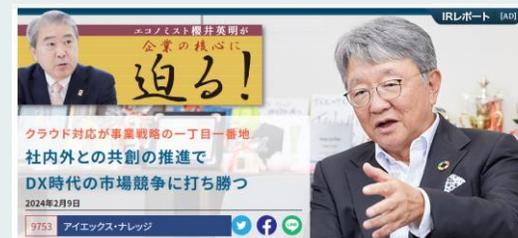
2024年1月24日公開
株式会社ダイヘン様

■ カスタムタイプ



2024年1月25日公開
クミアイ化学工業株式会社様

■ 対談企画タイプ



2024年2月9日公開
アイエックス・ナレッジ株式会社様

「IRレポート」概要



■ 定型タイプ

当社が設定する質問(掲載)項目に沿った原稿(資料等)をご提供いただき、それを当社にて編集したうえで掲載いたします。

「インタビュー記事」形式が基本となります。

質問項目は、①事業概要について②直近決算の業績について③事業戦略の内容と進捗状況等について④株主還元について⑤今期の着地予想についての5項目です。

【概要】

- ✓ 文字数: 1,000文字以内
- ✓ 図表等: 上限2点(料金内にて作図も行います)
- ✓ 配信・アンケート: 任意のタイミングでMIR@I会員へダイレクト配信

■ カスタムタイプ

貴社が設定する訴求テーマ(例えば「新中計」など)で情報発信可能です。

野村IRの編集スタッフ等が取材・撮影・記事編集するため、「インタビュー記事」「モノローグ記事」「レポート記事」などさまざまな形式をお選びいただけます。

【概要】

- ✓ 文字数: 2,000文字以内
- ✓ 図表等: 上限6点(料金内で作図も行います)
- ✓ 配信・アンケート: 任意のタイミングでMIR@I会員へダイレクト配信

「IRレポート」概要



■対談企画タイプ

経営トップと著名人との対談形式の記事で情報発信をいたします。
野村IRの編集スタッフが、質問項目の設定から取材・撮影・編集までハンズオンでご支援します。対談相手は、ストックウェザー「兜町カタリスト」編集長・櫻井英明氏もしくは株式会社アナリスト・鈴木一之氏

の両名*から選択いただけます。
櫻井、鈴木両名のインタビューで貴社の魅力を引き出すとともに、彼らのネームバリューにより読まれるコンテンツとなっています。

* 対談相手候補者は変更される場合があります



櫻井英明氏



鈴木一之氏

【概要】

- ✓ 文字数：2,000文字以内
- ✓ 図表等：上限6点（料金内にて作図も行います）
- ✓ 配信・アンケート：任意のタイミングでMIR@I会員へダイレクト配信

【備考】

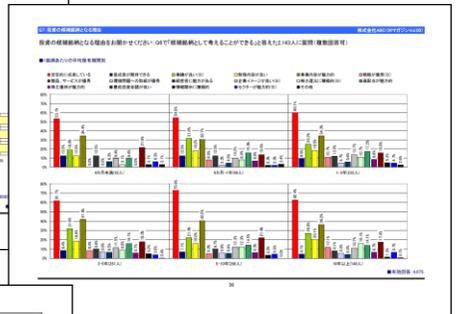
- ◆ 他社との共同企画として「業界特集」なども可能です。
- ◆ 複数年にわたる継続配信も承ります。
- ◆ その他、アレンジ企画についても、お気軽にご相談ください。

読者アンケート 認識ギャップの抽出

- 「IRレポート」には、読者アンケートが付属します。
- 読者であるMIR@I会員からのアンケート結果から、認識ギャップを抽出、分析し、ご報告します。
- アンケートは知名度、理解度、好感度、購買意欲などの認識調査とフリーコメントによる意見・要望を抽出します。



報告書のイメージ



このページは、読者の認識ギャップを抽出するためのフリーコメントの分析結果を示しています。このページでは、読者の認識ギャップを抽出するためのフリーコメントの分析結果を示しています。このページでは、読者の認識ギャップを抽出するためのフリーコメントの分析結果を示しています。

* 約2000~3000件以上のアンケート結果は後日、ご報告書として提出いたします。また、フリーコメントはすべて回答者の属性とともにご報告いたします。

サービス内容:プレミアムプラン

- ・「IRレポート」+「テーマ企画(以下の3テーマの内いずれか1テーマ)」
 - テーマ「社長」(シリーズ名「トップの素顔」)
 - テーマ「商品」(シリーズ名「ヒットの裏側」)
 - テーマ「歴史」(シリーズ名「先駆者たちの大地」)

「テーマ企画」概要

「テーマ企画」とは

「テーマ企画」とは、社長、商品、歴史の3つのテーマを、それぞれのフォーマットにて掲載する編集タイアップ記事です。「IRレポート」と組み合わせることで、より多角的に貴社の魅力をアピール可能です。

各フォーマットのシリーズ名は、経営トップの人となりを紹介する「トップの素顔」、ヒット商品の開発秘話を紹介する「ヒットの裏側」、業界のパイオニア企業を紹介する「先駆者たちの大地」となります。



【掲載事例】

■トップの素顔



2024年1月25日公開
クミアイ化学工業株式会社様

■ヒットの裏側



2022年9月7日公開
DIC株式会社様

■先駆者たちの大地



2023年10月18日公開
JTP株式会社様

「テーマ企画」概要

■トップの素顔(トップの人物像を訴求)

トップの半生やリーダー像をドキュメンタリータッチで紹介します。ライター、カメラマンとともに貴社トップを取材させていただきまます。表現形式、文字数等のフォーマットは、当社規定のものとなります。

【特徴】

- ✓ 上場企業トップの半生をコンパクトに紹介します。
- ✓ 投資先選定要因としての“社長”にフォーカスした企画です。



※参考

社長の“人柄”は、企業の好感度に影響する

~『アイアールmagazine』読者アンケート「トップの素顔を読んで『投資できる』と回答した理由」より~

- ・社長に魅力があり、強いリーダーシップを感じる
- ・社長ががんばっている感じがして応援したくなりました
- ・社長に人間の魅力がある。
- ・社長のシンガポール駐在時代の実績が今に生きている
- ・社長の経営姿勢に共感でき、企業としての発展性に興味を持つことができた
- ・社長はいわゆる努力勤勉型の経営者ではあるが、チャレンジャーとして見れば相当手強い人物です
- ・社長のストーリーに人間性を感じ、親しみを持った

「テーマ企画」概要

■先駆者たちの大地（会社の強みの歴史的源泉を訴求）

貴社の歴史とパイオニア精神をドキュメンタリータッチで紹介します。社史等をもとにライターが執筆させていただきます。表現形式、文字数等のフォーマットは、当社規定のものとなります。

【特徴】

- ✓ さまざまな業界の歴史ある企業の事業発展とその変遷をご紹介する読み物企画です。
- ✓ 「ビジュアルで社史をみる」というコンセプトに基づき、写真を中心に展開
- ✓ ドラマティックなストーリー仕立てで、パイオニア精神を読者に印象づけます。



「テーマ企画」概要

■ヒットの裏側(商品力とブランドイメージを訴求)

当該商品(サービス)がヒットした理由などをレポート形式で紹介しします。商品開発担当者などに取材させていただきまます。※資料のみを基にした記事作成の場合もあります。表現形式、文字数等のフォーマットは、当社規定のものとなります。

【特徴】

- ✓ ヒットを生み出した企業の先進性や商品開発力、マーケティング力を解き明かします。
- ✓ 開発担当者などへの取材を基に、ヒットの背景をレポートします。
- ✓ ヒット商品誕生ストーリーを入りに、企業の強みなどを印象づけます。



ご利用規約

第1条(広告掲載契約の成立)

1. 広告掲載申込者(以下「広告主」)が、野村インベスター・リレーションズ株式会社(以下「当社」)の運営するWEBサイト(以下「当社サイト」)への広告掲載サービス(以下「本サービス」)の利用申込みをする場合は、当社の定める様式の申込書によるものとします。
2. パナー広告等の入稿に際しての注意事項等は、当社入稿ガイドラインによるものとします。
3. 広告主からの広告掲載申込みに対して、当社がその掲載の可否を判断し、承諾の意思表示をしたときに、本利用規約と申込書を契約内容とする広告掲載契約(以下「本契約」)が成立します。
4. 広告の掲載可否(掲載中の掲載停止の可否を含みます)につきましては、当社が広告掲載基準に基づき判断し、決定します。

第2条(掲載に関する基本基準)

広告主は、当社に対し広告が以下の各号の全てに該当することを保証するものとします。

- (1) 法律・政令および省令・規則・行政指導等に違反しないこと
- (2) 成人向けの内容を含まないこと
- (3) 第三者の著作権・商標権、その他の知的財産権を侵害しないこと
- (4) 第三者の名誉・信用・プライバシー・肖像権等の人格的権利を侵害しないこと
- (5) 虚偽・誇大でなく、事実誤認を生じさせる虞がないこと
- (6) その他、当社所定の広告掲載基準に抵触しないこと(当社の判断によるものとします)

第3条(利用期間)

本サービスの利用期間は申込書記載のとおりとします。

第4条(解約)

広告主は、本契約の成立後においても、自己の都合により本契約を解約することができます。その場合、広告主は当社に対し、申込金額の全額を支払わなければならないものとします。

第5条(免責)

1. 広告主は、本サービスが広告露出数、クリック数、その他何らかの成果の発生を保証するものではないことを確認し、当社に対して本サービスの成果の発生の有無や程度に対する異議を申し出ることとはできないものとします。
2. 当社は、広告閲覧者のWEB利用環境による、広告が配信できない、正しく表示されない、クリック先へ誘導できない等の不具合について、何ら責を負わないものとします。
3. 当社は、以下各号にあげるインターネット通信またはサーバー等、システム上の環境要因による動作及び広告掲載中断、その他不具合につき、何ら責を負わないものとします。
 - (1) 当社サイトのシステムの定期的または緊急のメンテナンスを行う場合
 - (2) 当社サイトのリニューアルもしくはデザイン変更または機能拡張等を行う場合
 - (3) 天災地変、通信事業者によるサービス停止・中断、通信回線の障害、第三者による不正アクセス、その他当社の責に帰すことのできない事由による場合
 - (4) その他当社が必要と判断し、当社サイトの一時的中断を行う場合
4. 広告主は、本サービスを通じて掲載した広告及びリンク先の内容に関しての一切の責任を負うものとし、第三者との間で何らかの紛争が発生した場合には、自らの責任と費用においてこれを解決するとともに、当社に何らの迷惑および損害を与えないものとします。また、当社は当該広告に関する紛争に起因して広告主に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
5. 当社は、同時期に複数の広告が掲載される場合、同業種等競合調整は行わないものとします。

第6条(再委託)

当社は、本サービスの運営の全部または一部を第三者に委託することがあります。

第7条(秘密保持)

1. 広告主および当社は、本サービスの遂行により知りえた相手方の技術上、営業上、その他の情報で秘密である旨が表示されたもの(以下「秘密情報」)を、相手方の事前の書面による承諾を得ないで第三者に開示または漏洩してはならず、本サービスの遂行のためにのみ使用するものとし、他の目的に使用してはならないものとします。
2. 前項にかかわらず、広告主および当社は、次の各号に掲げる場合に、秘密情報を必要最小限の範囲内で開示することができるものとします。
 - (1) 自己または関係会社の役員または弁護士、会計士もしくは税理士等法律に基づき守秘義務を負うものに対して秘密情報を開示することが必要であると合理的に判断される場合
 - (2) 法令または行政機関、裁判所、地方公共団体、金融商品取引所の規則、その他のこれらに準ずる定めに基づき開示を求められた場合
 - (3) 第1項の規定は、次のいずれかに該当する情報については、適用しないものとします。
 - (1) 開示を受けた際、既に自己が保有していた情報
 - (2) 開示を受けた際、既に公知となっている情報
 - (3) 開示を受けた後、自己の責によらずに公知となった情報
 - (4) 正当な権限を有する第三者から適法に取得した情報
 - (5) 相手方から開示された情報によることなく独自に開発・取得していた情報

第8条(反社会的勢力の排除)

1. 広告主および当社は、次の各号を表明し、保証するとともに、将来にわたっても次の各号を遵守することを確約するものとします。
 - (1) 当社が反社会的勢力(暴力団員、暴力団、暴力団員と密接な関係を有する者、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団およびこれらに準ずるものをいう。以下同じ。)に該当していないこと
 - (2) 反社会的勢力が自社の経営に実質的に関与していないこと
 - (3) 反社会的勢力を利用していないこと
 - (4) 反社会的勢力に資金提供していないこと
 - (5) その他前各号に準ずる行為を行っていないこと
2. 前項違反を理由に本契約が解除された場合、解除された者は、その相手方に対し相手方の被った損害を賠償するものとします。また、解除された者は、解除により生じる損害について、その相手方に対して一切の請求を行わないものとします。

第9条(その他)

1. 当社は、広告枠に掲載する広告主の広告物、名称、ロゴ等を、当社サービスの宣伝、販売促進等に利用することがあります。広告主はこれを承諾できない場合は、予め当社にその旨通知するものとします。
2. 当社は、本サービスの品質向上のため、掲載原稿についてのアンケート、調査などを行う場合があります。

第10条(規約の変更)

当社はいつでも本規約の各条項を変更することができるものとします。但し、既に成立している広告掲載契約については、当該広告掲載を申し込まれた日における契約条項が適用されるものとします。

附則

令和4年2月21日施行

Drive
Sustainability.

NOMURA

お問い合わせ先

**野村インベスター・リレーションズ株式会社
アイアールmagazine編集室**

TEL: 03-3276-3608

E-MAIL: ir-magazine@nomura-ir.co.jp

本資料は、ご参考のために野村インベスター・リレーションズ株式会社が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、野村インベスター・リレーションズ株式会社はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は野村インベスター・リレーションズ株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。